

山田としお国政報告



山田としお全国後援会 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-8-11 東京保井ビル2階 TEL:03-3518-9710 FAX:03-3233-5151

山田としおの決意

政策を間違えてはいけない



今まさに、その危機にあります。安倍総理は、TPP交渉参加の挨拶で「日本と米国は、太平洋を自由の海にし、自由貿易の新しいルールをつくる」と言明し、その同じ挨拶で「日本の国益は麗しい国柄であり、これを造っている日本の食と農を守ります」と言っています。

米国の要求を押し付ける「形と内容が悪い」TPPへの参加は、大きな政策の間違いです。日本の食と農を守るといふなら、日本の農林漁業の根幹をなす重要5品目等と、国民の食の安全さらには国民の命を支える国民皆保険制度を絶対に譲るべきではないのです。

アベノミクスは、デフレの脱却と景気浮揚の希望を与えています。しかし、円安で飼料や燃油の価格が高騰し、畜産や漁業経営を苦しめています。何としても、これらへの緊急対策が必要です。

TPPへの不安に加えて、このままでは、日本の農林漁業はつぶれます。

政策を間違えてはいけません。

日本の将来を支える農林漁業を私は守ります。日本を滅ぼすわけにはいきません。

山田がめざす5つの政策

政策

1

TPPから絶対に重要5品目等の国益を守り抜く

今後TPP交渉が進められていく中で、重要5品目等(米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物(砂糖・でん粉)等)をはじめ、国民皆保険や食の安全基準などの国益を守りぬくため、全身全霊で闘います。

政策

2

「食べてゆける農林漁業」をめざす自民党新農政の確立に全力を尽くす

自民党が農政の2本柱としてきた、「多面的機能直接支払法」と「担い手総合支援新法」の早期成立の実現を軸に、自民党農政の先頭に立ち、農林漁業者の所得アップの実現をめざす新農政の確立に全力を尽くします。

政策

3

東日本大震災からの迅速かつ着実な復興をめざす

東日本大震災の発災から2年以上が経過しましたが、未だに出荷制限や風評被害に苦しむ農林水産物が多くあり、農山漁村での汚染廃棄物の処理や除染が進んでいない状況にあります。一刻も早い震災復興に向けて全力を尽くします。

政策

4

故郷である美しい農山漁村を守る政策を確立する

農林漁業の所得アップ政策、農地を農地として利用することの徹底、都市農業基本法の制定等をすすめることで、美しい農山漁村を守り、麗しの日本、瑞穂の国の資本主義経済の確立をめざします。

政策

5

いわれなき農業・JA批判に対して徹底して闘う

農業は地域社会・経済の安定基盤でもあります。また、これまでJAは、農村の発展と地域住民の生活を支えてきました。新自由主義者によるいわれなき農業・JA批判、行き過ぎた規制改革の荒波に対して徹底して闘います。